



—背景と目的—

子供は遊びを通して成長する。遊びの中で自らの限界に挑戦する中で、身体的・精神的・社会的な能力が発達し、創造性や主体性を向上させていく。

しかし、今日の子どもを取り巻く環境には、子どもの遊びを弊害するものが多い。土地開発等により、大人は子ども達の遊び場を奪った。親の中には子育ての知識や自覚が足りず、子どもに十分な教育や遊び相手をしてやれない人がいる。子どもへの危険を意識し過ぎる余り、過度な安全で自由を制限してしまうことも多い。

遊びの中で刺激が少なくなった現代の子ども達は、成長どころか、心身の活力低下にまで陥った。

今この社会に必要なのは、「子育て支援社会システム」の整備である。子どもが育ちやすい環境・親が子育てしやすい環境を整備しなければならない。

そして、子ども達にとって何より重要なのは「豊かな遊び環境」である。多種多様な遊び場・たくさんの友達・いろんな遊び・・・。

それらの要素を包括した、子ども達の豊かな遊び環境「遊環」を、社会システムの一環として計画する。



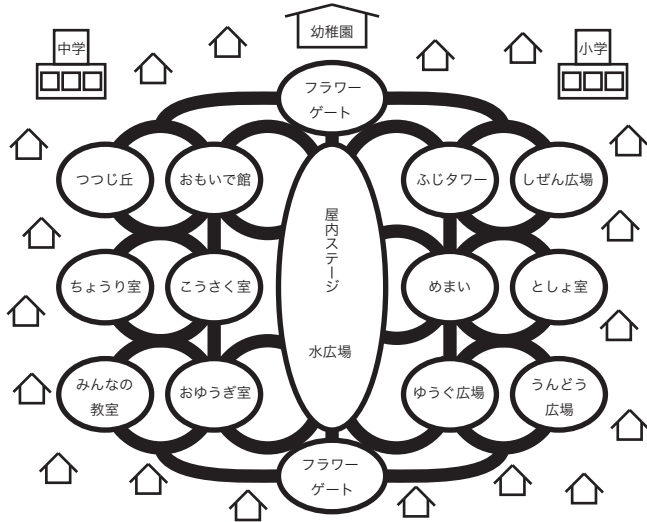
—計画—

遊環の三大要素

- ・ 様々な遊び場 → 多種多様な遊び場がある
- ・ 様々な遊び → 屋内外の遊びがつながる
- ・ 様々な友達 → 近くに他世代の子どもがいる

遊環構造の基盤

- ・ 遊び場全体に穴がある → 多数の出入り口や吹抜
- ・ 各遊び場を循環できる → 変化に富んだ動線
- ・ 友達と出会える広場がある → 滞留できる空間
- ・ 子どもの遊び文化を伝える → 遊環の継続
- ・ 地域の特性を反映する → 馴染み深い遊環に



遊環構造



空間構成

